

研究主題

文学的文章を読み、
学び合い活動を通して主体的に読みを深める方法を探る



I 研究の概要

1 研究主題

文学的文章を読み、学び合い活動を通して主体的に読みを深める方法を探る

学び合い活動とは…発表や話し合い活動を通し、お互いの読みや意見を伝え合うこと。

主体的に読みを深める…自ら意欲的に文章を読んで、根拠に裏付けされた自分の考えを持ち、ものの見方や考え方の幅を広くすること。

2 主題設定の理由

(1) 今日の課題から

現代の子どもたちは、パソコン、スマートフォンが著しく普及した社会の中で、インターネット等を通じいろいろな人と簡単にコミュニケーションを取ることができる環境にある。またグローバル化が進展し、2020年東京オリンピックに向け今まで以上に絶えず進化していく社会への対応が必要である。そのための外国語教育の拡大をよく耳にするが、外国語を学習する上でも土台となる国語力の充実がやはり必要不可欠である。教科等を越えた学習の基盤としてある言語活動の充実において、国語科が担う役割は大きい。

多くの人々とコミュニケーションを取ることが求められていくこれからの社会で、まずは自分自身の意見や感想をもつことが、コミュニケーションを取る事への第一歩だと考える。周りの人と同じような意見をもつこともあるだろうし、反対の意見をもつこともあるだろう。ただ他人の意見を聞き同調したり、むやみに反対したりするだけではなく、根拠に裏付けされた自らの意見を発信できる人がこれから必要になってくると考える。

学習指導要領において、中学校国語科における読むことの目標は次の通りである。

学年	(中) 第一学年	(中) 第二学年	(中) 第三学年
目標	(3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。	(3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。	(3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。
	(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。		
自分の 考えの 形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 エ 文章に表れているものの	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。 エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分

	ものの見方や考え方を広 くすること。	見方や考え方について、知識 や体験と関連付けて自分の考 えをもつこと。	の意見をもつこと。
--	-----------------------	---	-----------

学習指導要領でも、「自分の考えの形成」についての各学年の目標に、「自分の考えをもつこと」が挙げられている。読むことの力を伸ばすためには、文章を「読んで終わり」ではなく「読んで自分の考えをもつ」ことが重要であることがうかがえる。

私たちは様々な状況の中でその与えられた環境に適応して生きていかなければならない。中学校三年間は、思考力も感受性も高まってきていて「自分」「生き方」について真剣に考え始める時期である。しかしながら多くの具体的な体験を得るという機会はなかなか無い。そこで文学的文章に出てくる登場人物と自分を重ね合わせ、文章を通して疑似体験するということは、読解力の育成とともに意義深いものと考えられる。また、登場人物の気持ちや考えを自分の言葉にすることで、思考力が高まることにつながるだろう。そして、交流を通して様々な考えがあることを知り、自分自身の考えの幅を広げていけるのではないかと考える。

(2) 学校目標から

学校教育目標は「進んで学び、心豊かに、たくましく生きる生徒の育成」である。「進んで学び」については「自ら学び、よく考え、授業を大切にする生徒」を、「心豊かに」については「明るく思いやりがあり、自他共に大切にする生徒」を、「たくましく生きる」については「自ら健康・体力の向上に努め、生活を大切にする生徒」の育成を目指し、日々の教育活動に取り組んでいる。

本校の研究主題は「教育活動全体を通して豊かな心を育む道德教育の充実と、家庭や地域と連携して道德的実践力を育成する研究」である。道德教育に特にを入れており、相手の心情を慮ることや自分自身の気持ちに思いをめぐらし伝える授業を多く取り入れている。これからの道德教育の充実を図るためにも、自分の考えをもち、それを書いたり話したり、相手の考えを読んだり聞いたりすることなどの、他者とのコミュニケーションを図る力は重要である。その活動を支えるのは言語であり、言語学習の大半を担う国語科の授業の役割は大きい。

また国語科としては、「基礎・基本の知識を習得させ、文章を読み、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育成する指導の工夫」を努力点としている。本文の言葉を根拠に自分の意見をもつ力、ものの見方や考え方を広げようとする力が課題となっていると考え、設定した。特に後半の「ものの見方や考え方を広げようとする態度」については学校目標の「心豊かに」という目標に通ずると考える。

(3) 生徒の実態から

本校は全11学級(特別支援2学級)生徒総数243名(1年生73名、2年生90名、3年生86名)の生徒が在籍している。根郷小学校、和田小学校、弥富小学校の3校から成るが、和田・弥富小学校は各学年10名程度で、大半は根郷小学校出身者である。純朴で人懐っこく、心穏やかな生徒が多い。一方であまり勉強に熱心ではなく、家庭での学習習慣が身につけていない生徒も多い。一斉授業では教材の扱いやプリントなどの補助資料の工夫が必要である。

1学期当初にアンケートを行い、「国語の授業が楽しい」という質問に「たいへん」「おおむね」と答えた生徒は9割、「国語が好きだ」「詩歌や物語を読むことが好きだ」という質問に「たいへん」「おおむね」

と答えた生徒は 8 割を超えた。国語という教科や授業に対して好意的に感じている生徒が多く、意欲も感じられる。日々の授業もどのクラスも落ち着いた雰囲気で行うことができる。

・授業中、よく発表をしますか。 はい(25%) いいえ(73%) その他(2%)

それはなぜですか

〈はい〉 楽しい、好き、伝えたいから、言った方がいいから思うから、自信があるから、

〈いいえ〉 自信がない、間違っていないか心配、自分の意見がうまく言えない、自分の考えがない

・授業中、話し合いの中で自分の意見、考えを述べていますか。

はい(69%) いいえ(28%) その他(3%)

それはなぜですか

〈はい〉 聞いてほしい、話さないと進まない、自分の考えに対して他の人の意見を聞きたい、

少人数なら話せる、内容を深めてよりよい答えを出したい、指名される

〈いいえ〉 自信がない、間違っていないか心配、恥ずかしい

・授業中、話し合いの中で友達の見解について共感したり感心したりすることはありますか。

はい(86%) いいえ(7%) その他(7%)

意見が食い違ったときはどうしますか

他人の見解に合わせる、話し合う、もっと詳しく説明する、相手の見解を詳しく聞く、多数決

・普段、友達に自分の意見、考えを述べているか。

はい(55%) いいえ(33%) その他(12%)

それはなぜですか

〈はい〉 自分の考えを伝えるため、会話が続けると楽しい、友達にわかってほしい、我慢しないため

〈いいえ〉 自分の意見に自信がない、言い出せない、合わせる方が楽

・普段、友達の見解について共感したり感心したりすることはあるか。

はい(76%) いいえ(10%) その他(14%)

意見が食い違ったときはどうしますか

話し合う、他人の見解に合わせる、気にしない・そういう考え方もある、お互い尊重する、

強引に話しを進める、理由を聞き納得したら賛成する、多数決

しかし、一斉授業では教師の問いかけに対し理解していても自分の答えに自信が持てず、積極的に発言できない生徒が多い。間違ふことへの不安や人前へ出ることへの恥ずかしさもあるようだ。一方、班での話し合い活動は、大半の生徒が発言することができる。意見をもつことの大切さや、伝えることの大切さを理解している生徒もいる。そこで、今回は少人数での話し合い活動を取り入れ、自分の意見を積極的に発言する場面を多く設定した。研究発表会を行うことを通して、いろいろなものの見方や考え方があることを知り、考えの幅を広げていくことにつなげたい。

3 研究仮説

仮説①

登場人物の心情の変化に注目させることによって、自分の考えを持つことができるだろう。

【手だて】

- ① 変化の理由を本文の言葉を根拠にして表現する機会を多く設定する。
- ② 登場人物の心情の変化を自分の言葉で表し、可視化するワークシートを用いる。

・「考えを持つ」について

実際の授業の中で、生徒からでる読み(意見)は言葉を表面的に捉えたり、勝手に想像して自分の中で答えを作り出すようなものが多い。表面的な思い込みによる読みではなく、作者の文の中から、根拠を明確にして考えをまとめ、自分の言葉として表現させたい。アンケート結果からも、「自分の意見がない、他人の意見に合わせる」といった回答が多く、まずは文章の内容を理解し自分の意見をもつことが大切だと考えた。

・ワークシートについて

今回の研究では、読みを深める手段として心情の変化を図で示すワークシートを活用する。(資料3, 4, 7, 8, 12, 13) ノートを取るなど一つ一つの作業にも時間がかかる生徒もいるので、自分自身の意見をもつ時間を十分確保するための手段である。思考する時間を確保しながら個人でワークシートに取り組み、その後少人数グループを設定し、各自の読み取りを発表し合うことで異なる視点で物語を理解することができると思う。

仮説②

少人数の学び合い活動を多く取り入れることによって、意欲的に読みを深めることができるだろう。

【手だて】

- ① 個人の読み取りを少人数グループで話し合い、それぞれの読みの違いを考える場を多く設定する。
- ② 読みを深める場としての「研究発表会」を設定する。

・「読みを深める」について

自分の読みがあり、自分とは違ういろいろな意見を聞き受け入れた上で、どのような考えがあるか、どのような選択があるのかを考えさせたい。自分とは違う考えを聞き、ものの見方や考え方の幅を広げ、多様な読みの中から新たな読みを形成することを「読みを深める」とこととする。少人数グループでの話し合い活動において、さらに研究発表会での討議においての二段階で読みを深めることができると思う。

・研究発表会について

今回の研究では、読み取りの成果を表現する場として「研究発表会」を行う。単元の最後に発表会を設定することで、読み取りの意欲を継続させることができるのではないかと考える。今までの漠然とした主人公の心情理解を「研究発表会」という形で自分たちの言葉として伝えようとする中で、読み取りがより深いものになることを目指したい。さらに、お互いの発表を比較することで読み取りの違いを考えさせることもできる。

Ⅱ 授業の実践について

実践例 1

1 単元名

「音を追いかけて」～「未来」の心情について研究発表会を行い、まとめよう～

2 単元の目標

「関心・意欲・態度」

- ・作品を音読しながら、登場人物の場面ごとの心情を捉えようとしている。
- ・学び合い活動で友達と自分の考えを伝え合い、自分の考えを広げようとしている。

「読むこと」

- ・主人公の心情を表す表現に注意して読み、主人公の行動の変化を理解している。
- ・学び合い活動で多様な考えを知り、主人公の心情表現についての見方や考え方を深めている。

3 仮説との関わり

仮説①

登場人物の心情の変化に注目させることによって、自分の考えを持つことができるだろう。

- 主人公「未来」の心情がわかる表現を見つけたら、教科書の該当する部分に線を引かせることで、3つの場面ごとの心情やその変化が、わかりやすくなるようにした。
- はじめ・中・終わりの「未来」の心情変化を、根拠となる表現をもとに気づかせることで、自分の考えを持ちやすくなり、意欲的に読みすすめられるようにした。

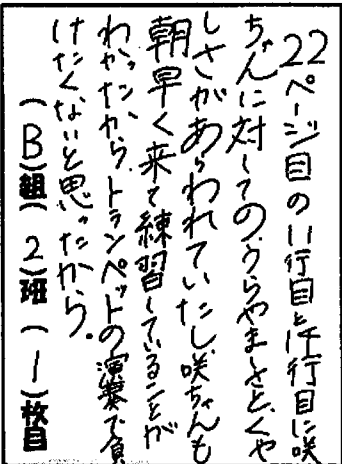
仮説②

少人数の学び合い活動を多く取り入れることによって、意欲的に読みを深めることができるだろう。

- 少人数の学び合い活動を取り入れることで、自分の考えを発表しやすくなると考える。また、他の意見に疑問を持った時など、質問や意見交換をしやすくなるようにした。
- 自分の考えを述べたり、友達の考えを聞いたりすることで、自分の考えに自信を持ったり多様な意見を知ることができ、「未来」の心情表現に対する見方や考え方の幅を広げることができるようにした。

4 学習の様子（8時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	○支援◎評価
一次「見出す」	1	・全文を通読し、感想を持つ。 ・語句の意味の確認をする。	◎感想を持ちながら、全文を通読している。(関) ◎語句の文脈上の意味をとらえ、理解している。(説)
	1	・主人公「未来」の心情の変化を考える。 ・あらすじを振り返り、「未来」	○「未来」の心情の変化について考える。(仮説①) ○ワークシートを活用することで、場面ごとの心情変化に気づきやすくなる。(資料3)

		の心情が変化していそうな部分を探す。	○文章中の表現を見つけれない生徒には、人物の心情を絵で表現させることで、自信を持たせる。 ◎「未来」の心情の変化を、理由付けながら書き示している。(読)
二次「調べる・深める」	1	・単元全体の課題を確認する。 ・最後の場面における「未来」の心情に対する自分の考えを持つ。 ・3～4人の学習班で話し合い、意見をまとめる。 	○心情がわかる表現に線を引かせることで、意見もちやすくする。(仮説①)〈資料1〉 ○学習班で行うことで、自分の考えを発表できるようにする。(仮説②) ○話し合いでは、役割を分担することで話し合いに責任を持って取り組めるようにする。 ○友達の見解を聞くことで、多様な考えを知ることができるようにする。(仮説②) ◎本文を根拠に、主人公の心情を読み取っている。(読)
	1	・研究発表会を行う。 ・発表をもとに、さらに「未来」の心情について考え、感想を持つ。	○前時で話し合ったことを、全体に伝える。 ○他の班の考えを知った後に、再び学習班で話し合っ て意見を再構築できることをあらかじめ伝えておくことで、より意欲的に発表会に参加できるようにする。 ○発表会を通じて、多様な意見を知る。(仮説②) ◎友達の発表に興味をもって聞き、感想を持っている。(関) ◎発表を聞き、「未来」の心情について考えたことを感想に書き表している。(読)
	2	・前時の研究発表会での意見を振り返り、「未来」の心情がわかる表現を見つけて、心情の変化を考える。	○全体で心情表現の変化を丁寧に確認し、次時の話し合いに生かせるようにする。(仮説①)〈資料2〉 ○心情がわかる表現に線を引かせることで、意見もちやすくする。(仮説①) ◎心情表現を見つけることができる。(読)

三次「まとめあげる」	1	・再度、最後の場面における「未来」の心情を班で話し合い、意見をまとめる。	○二次でわかったことを付け加えたり、意見を変更したりしながら、「未来」の心情についての意見をもてるようにする。 ◎本文を根拠に、二次の学習を生かしながら「未来」の心情を読み取っている。(読)
	1	・研究発表会を行う。 (B)組(2)班(二)枚目 昔の自分よりも線画をして笑う人や、昔の自分よりも人たよりまう、ふんわりたいて昔の自分に比べて、私だって自分より負けたくないから、しよ、と思った。 ・クラスの考えをまとめる。 ・単元全体の感想をもつ。 ・主人公の心情変化をまとめる。	○2回目の研究発表会を行い、意見を確かめる。(仮説②) ○今回は、全ての学習班の意見を検証しながら、課題に対するクラスの考えをまとめることで、学習課題への達成感を持たせる。 ○最後に再度「未来」の心情変化をまとめることで、学習前後の自分の変化に気づかせる。〈資料4〉 ○学習を終えて考えたことを書かせる。〈資料5〉 ◎班の意見をまとめ、根拠をもとに発表している。(読) ◎友達の発表に興味をもって聞き、感想をもっている。(関) ◎授業での学びを生かしながら、「未来」の心情変化を理由付けながら書き示している。(読)

5 成果と課題

(1) 成果

- 「未来」の心情の変化に注目させることにより、目的意識を持って繰り返し読んでいた。「変化した部分」を話し合いで考えるには難しい教材だとは思いますが、部分と全体をいったりきたりしながら、詳細な心理描写を読み解くことができたと感じる。生徒たちは「未来」の心情の理解が「なんとなく」から「わかった」になり、面白かったようである。
- 心情がわかる表現を探し、教科書に線を引かせることで、表現に注目する様子が見られた。また、自分の考えに根拠をもつことができた。
- 主人公「未来」の心情がたくさん描かれている文章であったため、生徒の気づきが多く、生き生きと取り組む様子が見られた。
- 学習班の活動では、進行、時計、発表、記録・掲示と役割をつくった。一人ひとりに責任を持たせることで、生徒が活躍する機会をもつことができた。また、1回目と2回目の班活動で必ず役割を変えることで、より意欲的に活動に取り組んでいた。
- 研究発表会をすることで、自分にはなかった考えに気づいた生徒がいた。話し合い活動や発表会では、多様な視点による発言が多く、よい気づきをした生徒の発想を認める場面を多く目にした(「な

るほど」「おおー!」「すごい」など)。話すことが好きな生徒や自分の考えを明確にもつ生徒にとって、班での活動や研究発表会は、意欲を掻き立てたようだった。

- 研究発表会は、自分の考えをなかなか持てない生徒や、発表が苦手な生徒にとってはプレッシャーとなったようである。しかし、友達の見解をもとに自分の見解を作り上げたり、友達の応援を受けながら発表したり、しっかり取り組む姿がみられた。「発表ができたことで、自信につながった」と感想に書いた生徒もいた。
- 最後にクラスの意見としてまとめる際に、各班の見解について、文章を振り返りながら活発に話し合うことができた。

(2) 課題

- 注目させる表現の精選が足りず時間が多くかかり、文章の軸がわかりづらくなったことがあった。
- 「心情表現とは何か」の確認が足りず、理解が遅かった生徒がいた。次の文学的文章の単元（『オペラと象』）のときに、『音を追いかけて』を振り返りながら確認することで、次の学習へとつなげたい。
- 班で話し合う場面で、進行役に慣れていない生徒への支援が必要であった。
- 根拠を基に自分の考えをつくるのが難しい生徒への支援が、もっと必要であった。学習班での活動の時に困ってしまい、話し合いに時間がかかったケースがあった。生徒によっては、「未来」の心情に関係しそうな表現に気づき、教科書に線を引いたり囲ったりする作業はできたので、スモールステップをより多くしたワークシートなどを準備しておくとうまくいったかもしれない。
- 研究発表会のときの意見の集約の仕方が他にもあったかもしれないと思う。生徒の考えを最大限生かす方法をもっと考えたい。

実践例 2

1 単元名

『タオル』～主人公の変化とその理由を読み取り、グループで発表しよう～

2 単元の目標

「関心・意欲・態度」

- ・少年の変化にかかわる表現を進んで探したり、書き表したりしようとする。
- ・積極的に学び合い活動に参加し、自分の意見を述べたり、人の意見を聞いたりする。

「読むこと」

- ・主人公の変化とその理由について本文を根拠にして読み取る。
- ・学び合い活動を通し、ものの見方や考え方を広げている。

3 仮説との関わり

仮説①

登場人物の心情の変化に注目させることによって、自分の考えを持つことができるだろう。

- 本文中の表現を根拠に、少年の変化の理由を考えることによって、文章を細かく読めるようにした。
- ワークシートを使い、はじめと終わりの少年の状態を比較することによって少年の心情の変化に気づき、自分の意見を持てるようにした。

仮説②

少人数の学び合い活動を多く取り入れることによって、意欲的に読みを深めることができるだろう。

- 登場人物の呼び名や祖父の人物像、変化を読み取るために注目すべき言葉、少年の変化とその理由について、少人数グループでの学び合い活動を取り入れることで、どの生徒も自分の意見を発言する機会を確保できるようにした。
- 自分の意見を言うだけでなく、人の意見を聞く機会も増えることで、ものの見方や考え方を広げる機会が多く持てるようにした。
- 1人では読み取りに不安がある生徒もほかの生徒の意見を聞くことで自らの意見をもちやすいようにした。

4 指導計画（9時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	○支援 ◎評価
一次「見出す」	1	・学習の見通しをもつ。 ・通読し、疑問、感想をもつ。	○研究発表会について伝え、学習の見通しを持たせる。 ○興味を持った部分、自分の感情が動いた部分を中心に書かせる。 ◎主人公の変化について意識しながら疑問感想を持ち、全文を通読している。(関)
	1	・登場人物の関係、呼び名を整理する。 ・物語のあらすじをとらえる。	○登場人物を指す言葉を挙げさせ、どの言葉がどの人物を指すのかを確認する。(仮説②) ◎物語の登場人物について理解している。(読) ○物語を前半と後半に分け、それぞれのあらすじをまとめさせる。 ◎物語のあらすじを理解している。(読)
二次「調べる・深める」	2	・祖父の人物像とその死がもつ意味を読み取る。	○個人で人物像について読み取った後、少人数のグループで話し合いを行う。グループでの意見を全体に発表する。(仮説②) ◎本文を根拠に人物像を読み取っている。(読)
	1	・少年の変化を読み取るために注目すべき言葉は何か考える。 ・少年の心情の変化を読み取り、まとめる。	○注目すべき言葉を個人で考えた後、学び合い活動を行い、発表させる。(仮説②) ○心情の変化を本文に根拠を持ってまとめさせる。(仮説①)

			◎少年の心情を読み取り、プリントに書き込んでい る。(読) ◎少年の気持ちが書かれている部分を探させる。
三次「まとめあげる」	2	・班ごとに話し合い、少年の 変化についてまとめる。	○リーダーを中心に根拠を持って全員で話し合いを させる。(仮説②)〈資料6・7〉 ○全員が納得できるよう意見をまとめさせる。 ◎班で協力して話し合いを進めている。(関) ◎自分の意見を積極的に発表している。(関)
	1	・研究発表会を行う	○発表後に質疑応答を行うことで班の意見との相違 点を考えさせる。 ◎ほかの班の読み取りについて意見をもてる。(読) ◎研究発表会に積極的に参加している。(関)
	1	・新たに気づいた内容の解 釈や読みの深まりについ てまとめる。 ・学習を終えての感想を書 く。	○もう一度変化をまとめることで、読みの深まりを 表現させる。〈資料8〉 ◎意見の変化を色ペンを使って書き込んでいる(読) ○学習を終えて考えたことを書かせる。〈資料9〉

○成果と課題

(1) 成果

- リーダーにグループ全員の意見と根拠を聞くよう指導したので、全員が発表することができた。
- 学び合い活動を通して、リーダーがよい質問者、よい聞き手へと成長した。
- 少年の変化の理由を書かせることで、物語の最初と最後だけではなく途中の展開も注意深く読むこ
とができた。
- 発表原稿を用意することで、読み取る内容が限定され、話し合い活動が核心からずれることなく学び
合い活動を行うことができた。
- 発表を通し、自分では気づかなかった登場人物の呼び名や少年の変化の理由を読み取れた生徒が増
えた。
- 去年の経験を生かし、リーダーを中心に根拠を持って考える生徒が増えた。
- 去年とは異なり、深い読み取りを目指して学び合い活動をする生徒が増えた。

(2) 課題

- 研究発表の際に質問が多すぎて時間がかかりすぎるがあったので、班の持ち時間を決めるべき
だった。
- 課題のまとめ方に意識が集中し、読みが深まらない班があったので、例を示せばよかった。
- 授業に集中できるよう配慮された座席ではあるが、班の編成に配慮をしなかったのでうまく話し合
いが行えない班があったのでさらにグループに配慮を行いたい。

実践例 3

1 単元名

『故郷』 ～主人公の心情の変化とその理由を読み取り、研究発表会で発表しよう～

2 単元の目標

「関心・意欲・態度」

- ・主人公の心情の変化に関する表現を進んで調べたり、自分の考えを書き表しまとめたりする。
- ・学び合い活動の中で、積極的に自分の考えを発表したり友達の意見を聞いたりする。

「読むこと」

- ・主人公の心情の変化に注目して読み、文章の中の表現を根拠に主人公の考えをとらえる。
- ・学び合い活動の中で友達の意見を聞き、自分の意見と比較しながら主人公の生き方や筆者の思いについて考えを深める。

3 仮説とのかかわり

仮説①

登場人物の心情の変化に注目させることによって、自分の考えを持つことができるだろう。

- 主人公である「私」の心情を、文章の中から根拠を見つけ理由を明確にしながら読み取っていくことによって、生徒一人ひとりが考えを持てるようにした。
- 主人公「私」が故郷に帰郷したとき、離郷したときの心情を読み取り、その心情の変化した理由を考えることにより、文章を丁寧に読み進められるようにした。

仮説②

少人数の学び合い活動を多く取り入れることによって、意欲的に読みを深めることができるだろう。

- 重要な場面で少人数の学び合い活動を取り入れ、一斉授業では発言があまりできない生徒も自分の考えをたくさん発言し、読みを深めことができるようにした。
- 学び合い活動の中で様々な考えを知ることにより、登場人物の生き方や友達の新しい考えなどに気づき、自分自身のものの見方や考え方の幅が広がることにつながるようにした。

4 学習の様子

○指導計画（10時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	○支援 ◎評価
一次「見出す」	1	・通読し、疑問、感想をもつ。	○通読の前に、物語の時代背景や社会状況を説明する。 ◎疑問や感想をもちながら全文を通読している。 (関)

	1	・登場人物の関係を理解し、物語の展開をとらえる。	○あらすじを確認し、内容を五場面に分ける。 ◎語句の文脈上の意味をとらえ、理解している。(読)
二次「調べる・深める」	2	・主人公の故郷に対する思いを読み取る。 ・班ごとに話し合い、その思いの変化についてまとめる。	○ワークシートを使い、自分の考えを整理したりまとめやすくしたりできるようにする。(資料10) ○心情を表している文章に着目し、主人公の故郷に対する思いを読み取らせる。 ○少人数グループを作り、話し合いを行い友達の意見を聞く機会を持たせる。(仮説②) ◎文章中の表現に着目しながら、主人公の心情を自分の言葉で表すことができる。(読)(関)
	2	・故郷の人々の人物像と、その変化がもつ意味を読み取る。 ・班ごとに話し合い、その思いの変化についてまとめる。	○ワークシートを使い、思い出の中と現在の登場人物の変化とその理由についてまとめる。(資料11) ○文章での変化を見つけられない生徒は、絵で表現させる。 ○少人数グループを作り話し合い、友達の意見を聞く機会を持たせる。(仮説②) ◎現在と思い出の中の情景描写や人物描写の違いについて理解し、作者の意図について考えている。(読)
三次「まとめあげる」	2	・離郷するときの主人公の心情を考え、主人公の故郷に対する思いの変化を読み取り、まとめる。 ・班ごとに話し合い、その心情の変化についてまとめる。	○ワークシートを使い、文章中の表現を根拠に主人公の心情の変化について考える。 (仮説①)(資料13) ○文章での変化を見つけられない生徒は、絵で表現させる。 ○少人数グループを作り話し合い、友達の意見を聞く機会を持たせる。(仮説②)(資料12) ◎文章中の表現に着目しながら、主人公の心情の変化を自分の言葉で表すことができる。(読)(関)
	1	・研究発表会を行う。	○質疑応答などを行い、他の班の意見との相違点を考えさせる。(仮説②) ○発表会を通じて、多様な意見を知る。(仮説②) ◎研究発表会に積極的に参加し、感想を持っている。(読)(関)
	1	・新たに気づいた内容の解釈や読みの深まりについてまとめる。	○それぞれの班の意見を振り返り、クラスの意見をまとめる。 ○他の班の発表を聞いた上で、再度自分の意見を振り返り自分の読みについて考える。 (仮説②)(資料13) ○学習を終えて考えたことを書かせる。(資料14)

			◎ほかの班の発表を聞き、自分の意見について振り返ることができる。(読)
--	--	--	-------------------------------------

○成果と課題

(1) 成果

- 1年生『少年の日の思い出』, 2年生『走れメロス』と学び合い活動を取り入れた授業を行い, 「文章中の表現を根拠にして, 登場人物の心情を理解する」ということに自然と取り組める生徒が多かった。
- 根拠を明確にすることを意識させることによって自分の読みに自信を持って発表する生徒が増えた。
- 登場人物の心情の変化に注目させることによって, 「なぜ変化したのか」という視点を持ち, 物語の最初と最後だけでなく全体を注意深く読むことができた。
- 作者の時代背景, 社会状況にも考えをめぐらせ, 登場人物だけでなく作者やその時代に生きる人々について考える生徒もいた。
- 単元の最後に研究発表会を設定し他の班の発表を聞くことによって, 登場人物の人物像を単元の最初よりも深く読むことができた。
- 他の生徒の発表を聞くことで, 自分では気付かなかった考えや読みに気付き, 自分の読みを広げることができた。

(2) 課題

- 語彙力の不足により, 個人でワークシートに取り組んだ時に表現したいことを的確に文章に表せず苦労している生徒がいた。絵を使って表現という方法を取り入れたが, 中学3年生なのでワークシートなどを工夫し, やはり自分の言葉で表現させる手立てを考えていきたい。
- 物語の文章が長く, どの文章に注目すればよいのか分からずなかなか根拠を見つけられない生徒がいた。
- 全員が発言する機会を多く設定するために, 司会, 時間, 発表, 記録・掲示と役割交代で行いながら話し合い活動に臨んだが, 進行に慣れていない生徒は上手くいかなかった。「話し合い進行シート」のような基本的な話し合いの型を提示するとよかったかもしれない。
- 研究発表会では良いことを発表していても声が小さかったり下を向いてしまったりする生徒がいたので, 発表の仕方をもう少し指導し“発表すること”への意識を高めたい。

III 研究のまとめについて

研究主題

文学的文章を読み, 学び合い活動を通して主体的に読みを深める方法を探る

仮説①

登場人物の心情の変化に注目させることによって, 自分の考えを持つことができるだろう。

- 心情の変化に注目することによって目的意識をもって本文を繰り返し読んでいた。

- 心情の変化の理由を探するため、細かな表現に注意して読むようになった。
- 主人公の心情がたくさん描かれている物語であったため、様々な根拠を見つけ、自分の考えを持つ生徒が増えた。
- 「変化」という視点をはっきり定めることで、課題が明確になり、自分の言葉で表現できる生徒が増えた。
- ワークシートで人物の表情を描かせることによって、読み取りが苦手な生徒も変化への手がかりをつかむことができた。
- 「変化」に注目させるため、教材によって扱いを選ぶものがある。(例：『私』『走れメロス』など)
- 注目させる表現の精選が足りなかった。
- 本文中に根拠となる表現を求めさせたが、本文の抜き出しで終わってしまい、表面的な読みしかできない生徒への手立てがもっと必要だった。

仮説②

少人数の学び合い活動を多く取り入れることによって、自分の考えを深めることができるだろう。

- 1 学期末に再びアンケートを行ったところ、「授業中、よく発表をしますか」という質問に「たいへん」と答えた生徒は4割、「おおむね」と答えた生徒を含めると8割を超え、以前より自分の意見を言う生徒が増えたといえる。
- 「登場人物の変化」は様々な要因によって起きており、学び合い活動が活性化し、まったく同じ回答にならず多様な発想や意見がでた。
- 最後の感想に「他の班の新しい意見」「自分とは違う考え」といった表記がみられ、自分にはなかった考えに気づくことができ、ものの見方や考えの幅が広まり読みが深まったと考えられる。
- 国語が苦手な生徒は自分の意見をなかなか持てなかったが、他の意見を聞くことによって自分の意見を形成することができた。
- 「研究発表会」を設定することによって、学習のモチベーションを高く持って臨むことができた。
- 一つの教材に時間がかかってしまう。もっとスムーズに進めるためにも、話し合いをする場面など精選する必要がある。
- 学習の過程で教師側から例を提示し、話し合いや発表のまとめの場面などでスムーズにいくよう支援があるとよかった。
- 単元のまとめ方が難しいと感じた。生徒の考えを最大限生かす方法をもっと考えたい。
- 活発な話し合いを行うために、少人数グループの組み合わせを教師側が意図して作る必要がある。
- 研究発表会では姿勢や話し方があまり意識されておらず、他の単元で「話す・聞く」の力を向上させる必要があると感じた。

資料

音を追いかけて

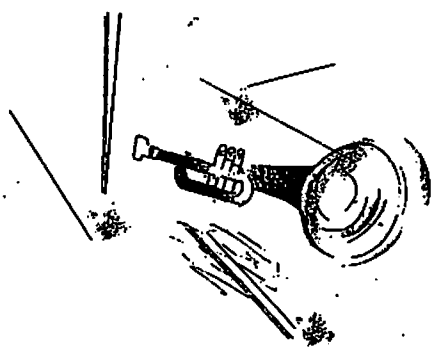
まはら三桃

①近づいてくる。

未来はくちびるを引きしめた。トランペットをかまえる。

あと一小節。ピストンにのせた指が細かく震え始めた。むせかえるような胸苦しさを、タイミングを計る。

一、二、吹き始めようとした時、パーッ



●登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。

「一瞬早くこなりから音がした。咲のトランペットだ。未来は追いかけたが、慌てたせいで音が抜けた。ブワーン
たちまち、他の音もほどけ始め、メロディは形を失った。
「ストップ」
指揮台の先輩がタクトを下ろし、顔をしかめる。
「また遅れたなあ。」
「すみません。」
未来は、ほおをこわ張らせて謝った。
「ラッパの一年生は、二人とも経験者だったよね。」
「はい。」
咲が答える。未来もうなずいたが、先輩から目をそらしたので、そっぽを向いたようなかっこうになった。
②未来と咲は小学校の頃から、同じマーチングクラブでトランペットを吹いていた。中学校でも吹奏楽部に入り、二人そろってトランペットを任された。いきなりのレギュラーに未来と咲は手を取り合って喜んだ。だが、喜びもつかの間、練習が始

は困うなずく
望
タクト
指揮者のこと

まったとたん、未来はミスを重ねるようになってしまった。

演奏曲は難しい。上手な先輩たちの中で、気後れもしている。けれど、出だしが遅れるなんて、小学生時代にさえなかったことだ。気にすればするほど、タイミングがつかめなくなってくる。

未来はトランペットをぎゅつと握った。
「今日はこれで終わりにしよう。」

先輩が指揮台を降りると、みんなは無言で楽器を片づけ始めた。③重たい空気がたちこめる。鳴つてもいない重低音が、どこかで響いているようだった。

となりでは、咲がトランペットの手入れを始めていた。クロスで拭かれた金色がまぶしい。光が、そこから放たれているのではないかと思うほど、強く輝いている。

「咲ちゃんは、すごいね。」
ぽつんと言った音楽が、自分の耳にうらみがましく返ってきた。最後のふし

「全然すくなくないよ。いつもと同じだよ。」
咲の返事には、なんの他意も混じっていないのに、胸に黒いインクが一滴落ちて広がった。未来はいたたまれずに席を立った。楽器を棚にしまい、荷物を持って音楽室を出る。

背中ごしの声に振り向くと、指揮者の先輩が立っていた。

「それより、もっと自信をもてよ。」
励ますような声が続いた。

自信？
未来は目を丸くして、首をかしげた。

④未来の部屋の机には、写真立てが置いてある。入っているのは、小学校のマーチングクラブでの写真だ。高々とトランペットをかまえた、赤い衣装の未来と咲。背中合わせにポーズをとって、胸を張って笑っている。誇らしそうな笑い声が聞こえてくるかわりに、先輩の声が思い出された。

「もっと自信をもてよ。」
それは、ずっと耳をはなれない言葉だった。先輩から言われた時、未来はちぐはぐな気持ちになった。意味はよくわかるのに、まるで実感を伴わなかったからだ。

けれども写真の自分には、自信があふれているように見えた。未来は二人の笑顔とトランペットをじっと見つめた。

握
クロス
こころは楽器をそくた
めのもこと
握
④……すればす
るほど
性
⑤困もつと
は困うなずく

〈次頁料3〉生徒A

音を追いかけてワークシート④

組 番氏名

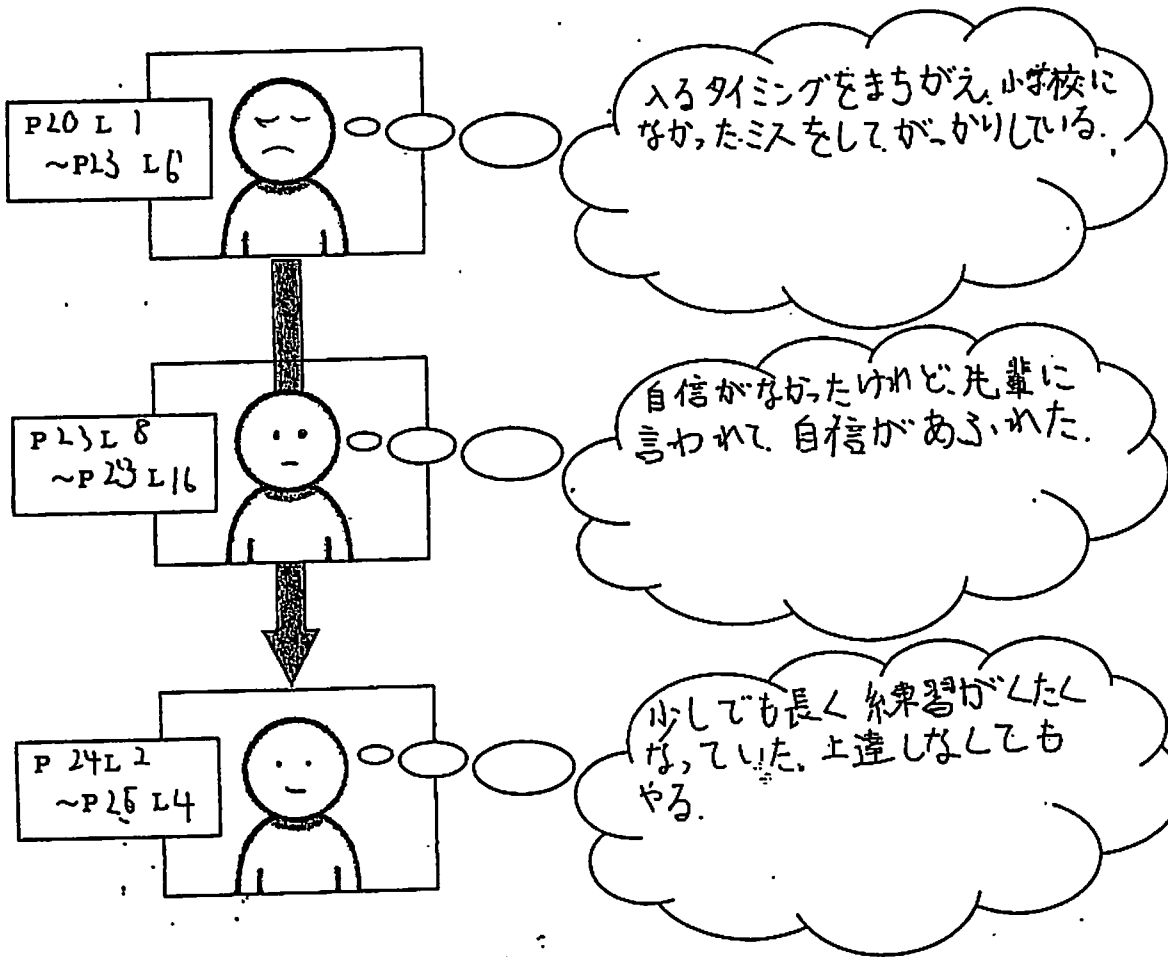
学習課題

「未来」の気持ちの変化を考えよう。

場面が変わるとき

D 「未来」の気持ちを、三つの場面ごとに考えよう。

時 場面



〈次頁料4〉生徒A

音を追いかけてワークシート⑤

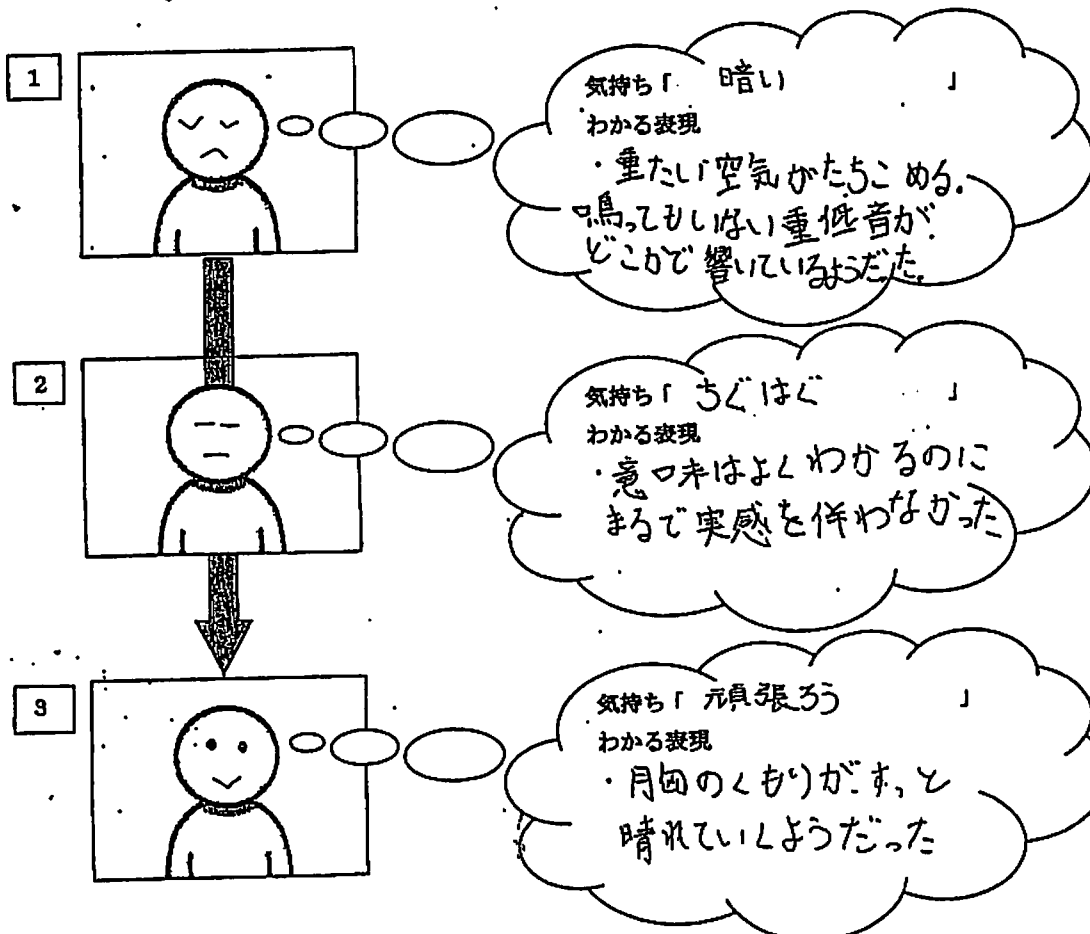
組 番氏名

学習課題

「未来」の気持ちの変化を考えよう。

↓確認!

☆ 「未来」の気持ちをまとめよう。



〈次資料3〉生徒B

組 番氏名

学習課題 「未来」の気持ちの変化を考えよう。

○ 「未来」の気持ちを、三つの場面「ミ」で考えよう。

P20 L1
~P23 L6

〈音楽室〉

ミスを重ねて、落ちこ
・「黒いインクが一滴落ちて広がった」
のじが一気に暗くなった。

P23 L8
~P23 L16

〈未来の部屋〉

写真を見て、今の自分に
「自信」がな ことに気付く

P24 L1
~P25 L20

〈次の日〉

自分に自信がもてて、少しも
たくさん練習がしたくなった

〈次資料4〉生徒B

組 番氏名

学習課題 「未来」の気持ちの変化を考えよう。

☆ 「未来」の気持ちをまとめよう。

1

気持ち「ミスを重ねて落ちこむ」
わかる表現
・「黒いインクが一滴落ちて
広がった」 暗い気持ちになった。

2

気持ち「昔の自分には自信があったことに気付く」
わかる表現
・(写真に)「胸を張って笑っている」
↑
昔は、自信があった!

3

気持ち「たくさん練習して自信をつけたい」
わかる表現
・「私だって負けないよ」
味にも自分に負けない!

↓確認!

〈資料5〉生徒A

音を追いかけて ワークシート④

組 番氏名

学習課題

「私だって、負けないよ。」と言った、「未来」の気持ちを考えて。(二回目)

A 「私だって、負けないよ。」 袖の意見のまとめ

笑に負けないし、自分にも負けないという思い。
練習して自信をつけた。

B 「音を追いかけて」の授業を振り返って

・話し合い活動についての感想(自分の取り組みや他の人と交流して考えたこと)

話し合いで自分の意見を言えたのでよかった
です。他の班と自分達ではちがったり新しい
意見など聞けてよかったです。

全体を通しての感想

初めて話し合いなどして未来の気持ち
を考えたり意見など言えてよかったです。

今後の話し合いでは積極的に意見
を言ったり発表したいです。

生徒C

・話し合い活動についての感想(自分の取り組みや他の人と交流して考えたこと)

私は人の前で話すのが苦手なんですけど、
発表者

として自分から人の前で話せたのびよかったです。

全体を通しての感想

未来は、味方の人がお助けでやる事が出来た
と思いました。話し合いで自分から進んでは出来
ない、手伝ってほしい人の気持ちも考えたし思っ
たのでよかったです。

生徒D

・話し合い活動についての感想(自分の取り組みや他の人と交流して考えたこと)

班のメンバーと意見をまとめたことで、とても良い意見
交換できたクラスでの話し合いで他の班がまとめた意見
と自分達の班の意見を比べ、より深く物語を知れて良
い。

全体を通しての感想

よかった。

最初は、なんとなくしかわからなかった未来の気持ち
が

少しずつわかるようになっていってとてもおもしろかった。

クラスで話し合いなどをする事で交流もできてよかった。

〈次頁料 6〉

発表原稿

*指をさすなどまとめた図を上手に描こう

なぜか

涙は出なかった

私たちの班は少年の変化を「この図のよう」にまとめた。

最初、おじいちゃんがなくなっても ~~涙は出なかった~~

結局少年は

物語の最後にはおじいちゃんがなくなっても、悲しくて

泣いています。

「涙」に注目して少年の変化をまとめると、

涙は出て

①のとき少年は

おじいちゃんがなくなると、悲しいと感じてはいたけど、邪魔物扱いされて嫌だ、と思う気持ちのすけが

かたから、涙は出てこなかった。ゆくり悲しい場所がなかった

②のときは

少しシライさんと呼ばれて祖父のことを聞いた後、家に

帰った。もう思い出話にしてしまっている母たちを目撃、

あんなにでもない、と思ったり急に悲しくなった。涙は出なかった。

③のときは

いつもおじいちゃんがうけていたタオルを巻いてみたとき、

急に物凄く悲しくなりました。おじいちゃんのおいもなかつた。涙は出なかった。

と変化していきます。このように少年の気持ちが変化したのは

シライさんと出合っ、もう一度

し、かり祖父の死に向き

合えたから

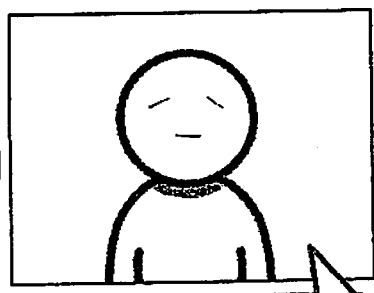
そして、この作品の中で「タオル」は

おじいちゃんのハア身のようなもの

以上で5班の発表を終わります。

〈資料 7〉

◎少年の変化をまとめよう



大切なおじいちゃんが死んでしま、
たのに、なぜか涙が出てこない。

祖父がなくなりました。

悲しいのは分かっているけど、涙が出ない。

← 自らの居場所がないから、ゆくりと悲しむことができない。

旅行雑誌の記者「シライさん」をみちしおさまで宮内

← おじいちゃんやお父さんの昔を知る。

・おじいちゃんは漁のときいつもタオルを巻いていた。
・三代で船にのりたかったという夢を知る。

家に帰るとみんなが話をしている。

・おとといまでこの家にいたおじいちゃんのことを
もう思い出話のように話している。

← 急に悲しくなりました。

おじいちゃんのタオルを頭に巻くと、熱いものが
まぶたからあふれでた。

おじいちゃんの死を改めて実感し
て泣くことができた。

◎少年の変化をまよめよう

◎少年の変化をまもるため



この悲しき場所だ。

（複雑な気持ち）

シライさん

仕事が出来てほしくする。

お話しする。(昔、グラビタページで……)

② 悲しい。

でも泣い

家 = 庚子

祖父

もう、あじいちゃんと言ふことば、
初めて悲しさが結びついた。
かなしい。胸が苦くなる。
ライムの話

ライオン
から昔の話を
聞いて...。

③ 泣いた。

出 源があれ
T:6



タオルがないとあ
 いちゃんい
 朝の
 ない
 おい。

漁師
身に何
お
い
ち
ん
の
に
お
い

おじいちゃんの死。悲しい。熱いものがまぶたからあふれ出た。おじいちゃんの死を実感した。居場所を見つける。思い出が湧く。

おいちゃんへ死を自覚

ハ
と
頭
で



自分の居場所もなく「ゆくり
悲しみたくて涙もでない」

祖父の死を理解していきなさい

おじいちゃんが死んだことばかりでいて、

おちつけなまうにん。

東京から来たシライさんと話して、自分と同じと知って居場所を出さずと思ふ

おいちゃんの手書いた年賀状を少年がみて、おいちゃん
の夢をみる（三代で船にのって漁をする）という夢

現たふんこで、おいぢや、死んでおいぢや、命とかかへうねんく
子なつしまたことわいてしまつて、少しおいぢや、人の死を思ふ

思ひ出話をしているやうな感じがして、寂しいと思つた。
家族みんなが、おじいちゃんのことと思ひ出話にして
しつゝ、こゝでもまたかくし、おじいちゃんの死をさ
したから
涙は出さなくても悲しくなつたと思つた。↑



父さんが涙声で「やほりッオレがな」とおっしゃるには、
だしてあげた。カサネは、さういふ事をしなかつた。
最後、カサネは、その時、そのとき、果てから、死んで

涙を吐いて悲しくなせたら

（いまだ）祖父の死を悲しんでゐた少年は、
最後、父の死を悲しんでゐた父にさうして、
（いまだ）祖父の死を悲しんでゐた少年は、
最後、父の死を悲しんでゐた父にさうして、

タオルは、
 祖父の、
 泉海生を
 ちうはんは位置に手をあたまをなのは、タオルを二つ
 うとおいちゃんか死ななことを要感しなけはななな
 う

学習を終えての感想を書こう

◎学習を終えての感想

悲しいのに泣けないのは、どこで悲しいのかわからないからだと思つていただけ、班の話し合ひで、実感が出ないという意見が出て、おまにそうだなと思つた。他の班の発表をきいて、自分や班ではどうなかつた意見がたふさふあり、いろいろな意見がきけてたのしかつたし、おもしろかつた。

生徒 D

夕オ儿

組
番
氏
名

学習を終えての感想

◎学習を終えての感想

④のときの涙のところが思ひ出に話にしてしゃべっているから
涙が出てきたと思つていたんです。ほかの班の意見や、発表を聞い
て、思ひ出に話にしてしゃべつていてもう話せなかつたか
うに意見が変りました。タイルとはのところが少し言葉
で表すのが難しかったです。もう少し班で質問の答へに
ついて話していればよかったと思ひました。

夕才儿

組
番
氏名

練習終へての感想を書こう

◎学習を終えての感想

發表會をして、源に注目したとき、あのときの少年の気持
が、イマイチわからなかったけれど、おいいちちゃんの死を、かんし
というのに、あーそうだったって、考へてみました。おいいちちゃんの
月オルは、おいいちちゃんの大切な物だから、それを死せいかんてこ
たのけはないのかと考へました。

生徒下

夕才儿

組
番
氏名

◎学習を終えての感想

自分で書いた意見と他の人の意見が全然違
 異な初は自分のが絶対体合っていると思つたけど
 他の人の説明を聞いて、自分のでは違ふ讀み
 取り方をしていて、自分もその意見に見合ふしま
 た。許す。△ういは積極的にかんこできま
 した。

〈次頁料 11〉生徒 C

〈第四場面〉

「閨土」の楊おはさんにはなぜ変わってしまったのだろう。理由を考えよう。

私の意見

本文の「打ちひしかれてバがまゐする生活」という表現から、

土は、**境界を越え**るくらいつらい思いをし、**感情をなくして**また変わってしまったと考える。分

なぜなら「心がまひする」とは感情がないということ、もし

私が、閨土のように、たくましくつらい思いをしたら、感情

をおさえ 静かに生活していこうと思うからです。なので感情をなくした閨土は以前より明るさをなくしてしまったの

だと思ひます。

生徒 B

「閨土（ごんち）の楊おばさん」はなぜ変わってしまったのだろう。理由を考えよう。

私の意見

本文の「旦那様……」

「とら」表現から、

子供のころとけ違い
身への差を
りきまえた。少
明土の生活が
変わってしまった。
上へ出る。

なぜなら 子供の時は仲よく遊んでいて「友達」で済んで、
大人になると「同僚」にならなければならないから。

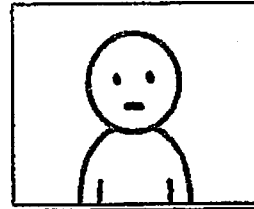
中江氏は、三十年の時状を、關東の世を記し、航路の記述を附し、

た結果、国士自身が自分に自信をなくしてしまいました。

故郷

船上での「私」の気持ちの変化について考えよう！

◎登場人物の変化 班の意見をまとめよう！ 根拠を本文の中からしつかり探そう。



離郷したとき

引ッこしのために帰郷して
きたが、故郷が変わってしま
って、寂しく、驚いた。



離郷したとき

まるまるしていた閨土
を思い出す。
↓閨土に会いたい
楊おばさん、閨土が
変わってしまった
↓驚き、悲しみ
・宏児と水生が仲良く
なった
↓これからも仲良く
してほしい
名残惜しい気はしない
新しい希望を見つけ、
未来の平和を望んで
いる。

物語を通して「私」に何が起きたのか。

故郷

物語の中で起きた「私」の気持ちの変化について考えよう！

◎登場人物の変化 班の意見をまとめよう！ 根拠を本文の中からしつかり探そう。



離郷したとき

寂寥の感が胸に
込みあげた



離郷したとき

新しい世代の人たち
には新しい生活を
してほしい

新しい生活について

閨土との思い出 (P164 ~ 170)
楊おばさんとの再会
閨土との再会 (P170 ~ 171)
宏児と水生の姿

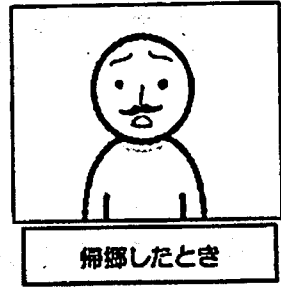
物語を通して「私」に何が起きたのか。

P168 ~ 175

故郷の姿が「ほんやり」して
しまい、思い出が「ほんやり」した。

物語のなかでおきた「私」の変化について考えよう。

◎登場人物の変化
自分の意見をまとめよう―観劇を本文の中からしつかり観よう。



帰郷したとき

自分の思っていた故郷ではなかった。
引こしのせいでもあるが、美しかった
故郷が活気のない場所になってしまった。
すみい、悲しい。驚き、自分の心境が変わり
ひっこしをすすみしす、決意、別れを告げにきた

故郷に帰ってきた！

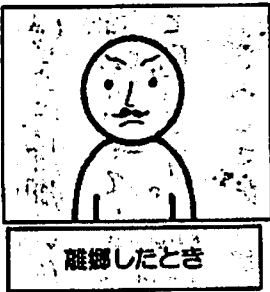
・変わりはててしまった。閉土に会う。驚き、残念。
・閉土は、凶作や税金のせいで変わってしまった。
・楊おばさんはケチで愚直な良い目で見ず、
ほしいものがあつたらすぐとっていった。

・閉土や楊おばさんの望むものがすべて手に入
りやすいものだった。

・自分も望むものはあるが、手に入りにくいもの。
・宏児や水生を見る。・宏児と水生、閉土と私のよう

・まわりの変化

物語を通して「私」に何が起きたのか。



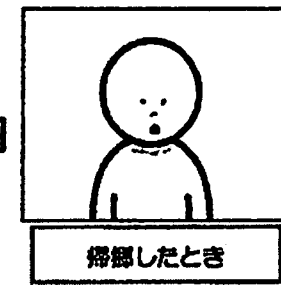
離郷したとき

もう二度と私たちのようにならな
いように、平和を望みたい。今までは閉土
も故郷もおかしくてしまったと思ってい
たけど、平和ならそうはならなかったかも
しれない。・彼らには良い生活を、平和

・帰郷して他の平和という大切なものを知ら

物語の中で起きた「私」の変化について考えよう。

◎登場人物の変化
自分の意見をまとめよう―観劇を本文の中からしつかり観よう。



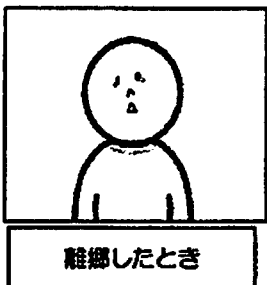
帰郷したとき

片時も心ゆるぎのなかた故郷
から、故郷に帰ると帰ると帰郷
は離郷のためだけに楽しめた
よい感情が無い、楽しいまではない
うみしい、離郷は悲しい

宝の箱は、神祕の宝庫ではなく、
ボ。頭の中にあつた昔の閉土と、今の閉土
が違いました。・旦那様……

・楊おばさんも変わってしまい、フニバス
なりました。
・閉土の思い出
・水生と宏児、か昔の私と閉土のよう
に心を通わせていたから、自分達の
ような生活にならないよう、新しい世代
に希望をたくした。

物語を通して「私」に何が起きたのか。



離郷したとき

故郷に未練はないけど、閉土産
に新しい生活を、ほしい。
「名残り惜しい気はしない」「気がめいる」
「非心しい」
・身元をまもり、
・あつた人が新しい生活を、ほしい。
・未来への希望
・新しい生活を、ほしい。

・抱いた
・未来に向けて歩み出す

物語の中で起きた「私」の変化について考えよう。

他の班の意見を聞いて ※「なるほど」や「それはどうかな」、など新しい発見や思ったことをメモ

- 〇 帰郷の時は[『]故郷の変わりようにショックた、た、という意見がよか、た。
- 〇 離郷の時は[『]過去のことも未来と希望のもとに平和にしようという意見がよか、た。
- 〇 寂しいという気持ちにな、たという根拠が、"小栗雄の面影は……ぼんやりしてしま、た"という意見になるほど"と思、た。^(離)
- 〇 誰もが平和で幸せに という表現がよか、た。(7班)
- 〇 と2も詳しく説明していて全部なるほど"と思、た。

発表を終えての感想

どの班ともとても分かりやすい説明で物語の中で走ってきた「私」の変化がよく分かった。
1回と2回の時より発表がやりやすか、たし、説明もしやすか、たと思、ました。
「私」と「閑土」が変わ、てしま、た所や帰郷・離郷の時の気持ちも完璧で
考えの、いろいろ考え、て楽しか、たです。クラスにうまく伝え、れない
ところがあったので、次はしっかり準備しようと思、ました。

物語の中で起きた「私」の変化について考えよう。

他の班の意見を聞いて ※「なるほど」や「それはどうかな」、など新しい発見や思ったことをメモ

- 1班 発表が分かりやすか、た。"なるほど"という解釈が、わかつた。
- 2班 もう少し意見を整理できると分かりやすか、たと思、た。似たような意見だ、た。
- 3班 根拠からの意見が分かりやすか、た。<sup>2回目は
2つの意見
やすか、た
根拠が
しっかりして</sup>
- 4班 根拠がしっかりして、た。離郷したときの気持ちがとてもな、てか、た。!
- 5班 わかりやすい説明だ、た。橋おばあさんの意見はと2もな、て、た。
- 6班
- 7班 同じような意見だ、た、根拠となる場所が違、てそういう考えもあるかと思、た

発表を終えての感想

初めて読んだ時は全く意味の分からなかつた「故郷」だ、た。話し合い
や発表を通して、人々の心情や情景を深く理解でき、たと思、た。
班ごとに少し違う考え方があったがどれも根拠がしっかりして、て
「なるほど」と思、う所が多か、たので、全部あ、て、いるのではないかと思、た。
他の班の発表を聞くことでよりた、さんの目線、で物語を読み取、る
ことができたと思、う。他の人の考えが参考にな、た。

物語の中で起きた「私」の変化について考えよう。

故鄉

他の班の意見を聞いて ※「なるほど」や「それはどうかな」、など新しい発見や思ったことをメモ

6期生 (帰郷) 前は美しい故郷がもうないと思い悲しい。引こしなどのマイ入の気持ち
1期生 (帰郷) 思い出の中の故郷と変わっていて悲しい (離郷) 新たな道に進むことを決めた
2期生 (帰郷) 社会の差や生活などで変わってしまったが、宏見と水生達には苦しくない (離郷) 生活を救って欲しい
3期生 (帰郷) 私は小さいころの故郷は明るくまた昔の故郷を見ようとしたが違っていた
2期生 (帰郷) 故郷が変わったこと、引こしはなぜか悲しいが、あった。
4期生 (帰郷) 引こしのために戻ってきたけど故郷が変わってしまってショックだった (離郷) 悲しい気持ちではなく
7期生 (帰郷) ショックだった、一から十に変わって (離郷) した時は中国を平和にしたい (来月の気持ち) に来た

発表を終えての感想

他のグループの発表を聞いてまた違う考えが出て来たのでとても勉強になったと思います。故郷の話もとても考えさせられたので「国語」が少しは好きになったと思います。

生徒 I

物語の中で起きた「私」の変化について考えよう。

故鄉生徒丁

他の班の意見を聞いて ※「なるほど」や「それはどうかな」など新しい発見や思ったことをメモ

1. 7班。関土を見ても、そちらのほうがいいと思った。
①理想と違、ショック ②平井のなかの中

3. 2班。いい、いい、悲しい → 希望がでた。
①難しくなってしまう。ショック ②希望をもった。

4. 5班。昔の関土と違う。今の関土の変わり用に驚く。
①昔の故郷 → 変っていた。ショック。目的を忘れた。②水と空（見えて）

5. 3班。故郷はこんなふうだ → 関土直った。③関土の変わり用にショック。④関土も再び
⑤片時も休まず... であるう。自分が考えていたプラス。⑥新しく幸せな生活に現実を突きつけた。
⑦自分も、定に希望をもつ。⑧新しい生活とけ、心がまひしたり重い生活。

6. 1班。残念、悲しい。⑨新しい決心。

7. 6班。⑩帰。マイナスな気持ち。
⑪楊子ばとの変わり用に、関土に
しょうけきで置いた。
⑫過去はたまたま立ち向かう決心。
自分のま

郷生徒丁

発表を終えての感想

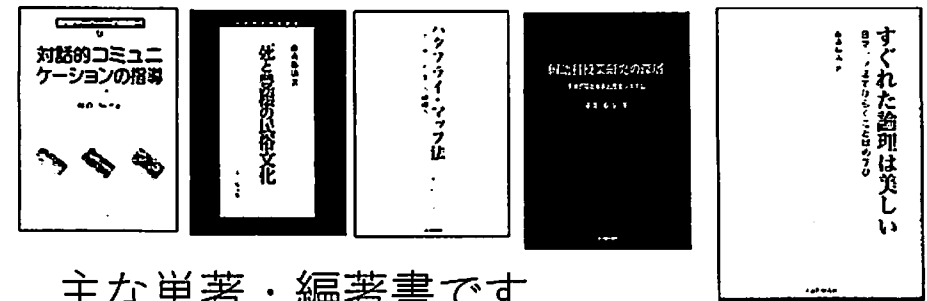
いろいろな班の考えや意見をたくさん聞けて、新しく疑問に思った事や、違う考え方や意見が出ていても、自分の考えを深められ、とても良かったと思います。特に、帰郷の日や、離郷の時の状況など、違ったりしてとても面白かったです。

次期学習指導要領の 学力観と国語科教育

藤森ゆうじ
信州大学

- 国語科の見方・考え方とは何か？
- 資質・能力とは何か？
- 【知識及び技能】と【思考力・判断力・表現力】
はどういう資質・能力か？

1



主な単著・編著書です



2

国語科の見方・考え方とは何か？

道具としての
ことば

- どのような仕組みをもっているか
- どのようなはたらきをもっているか

言語活動

- 実際にどう使われているか
- どんな知恵や技術が用いられているか

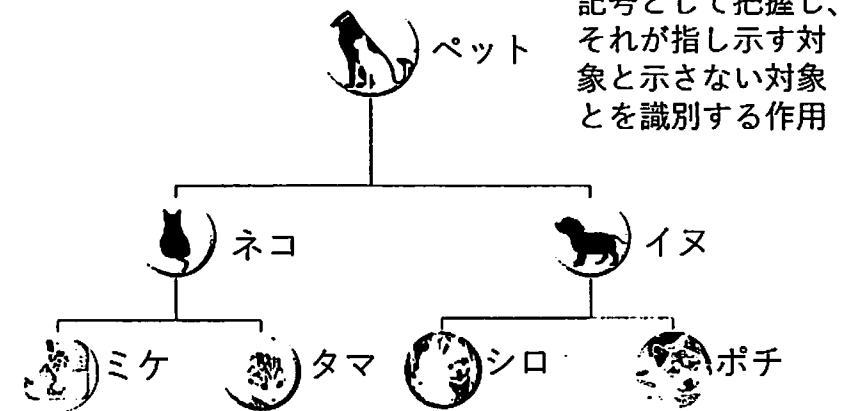
言語作品

- 文学的文章に特有の表現の仕方とは
- 非文学的文章に特有の表現の仕方とは

3

「道具としてのことば」の見方・考え方

概念化



4

概念化にかかわる学習指導要領の取り扱い (小学校【知識及び技能】を例に)

	低学年	中学年	高学年
語彙	オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。	オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。	オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

5

線条性にかかわる学習指導要領の取り扱い (小学校【知識及び技能】を例に)

	低学年	中学年	高学年
文や文章	カ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。	カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。	カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。

7



鹿は
森のはずれの夕陽の中に
じっと立っていた
彼は知っていた
小さい額が狙われているのを
けれども
彼にどうすることができただろう
彼はすんなりと立って
村の方を見つめていた
生きる時間が黄金のように光る
彼の棲み家である
大きな森の夜を背景にして

鹿

村野四郎

線条性とは

ことばによって何物かを指し示したり自分の考えを述べたりするためには一本の線を辿るような順序がある、という性質

課題：上の絵をそのまま見ると、詩の描写に従って目で追うとでは、どう異なるだろうか。

6

「言語活動」の見方・考え方

文脈化

ことばによるコミュニケーションの接続と展開の中で実現される意味生成の作用

課題：父と兄弟の会話順が異なると、傍線部の「泣きそうに」なった事情はどう変わってくるか？

「もうねろねろ。おそいぞ。あしたイサドへ連れていかんぞ。」
「お父さん、ぼくたちのあわ、どっち大きいの。」
「それは兄さんのほうだろう。」
「もうねろねろ。おそいぞ。あしたイサドへ連れていかんぞ。」
弟のかには泣きそうになりました。
そのとき、トブン。
(宮沢賢治「やまなし」より)

8

文脈化にかかわる学習指導要領の取り扱い (小学校【思考力・判断力・表現力】「C読むこと」を例に)

	低学年	中学年	高学年
構造と内容の把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

9

関係性

関係性の基本分類

$A \Rightarrow B$ or $A \Leftarrow B$: AとBは基本的に同じ話題における置換的・類型的・類比的な対象・内容である。

$A \Leftrightarrow B$ or $A \neq B$: AとBは基本的に同じ話題における対照的・対立的・対比的な対象・内容である。

$A ? B$: AとBは上のいずれにも属さない。

- ・ Bに先行するAがない：諸言
- ・ 話題が異なる：展開
- ・ 先行する話題のまとめ：結論

絶句 杜甫
江碧鳥逾白
山青花欲然
今春看又過
何日是歸年

課題：関係性の基本分類に沿って、上の漢詩を分析してみよう。

10

関係性にかかわる学習指導要領の取り扱い (小学校【思考力・判断力・表現力】「C読むこと」を例に)

	低学年	中学年	高学年
構造と内容の把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

11

「言語作品」における見方・考え方

文学的文章の見方・考え方

視点：対象をある特定の方向から描いている。

話者：語り手は一人称か二人称か三人称である。

象徴：行動や情景によって深く繊細な心理状態が表される。

伏線：前の部分の描写が後の描写とかかわり、作品の深みを増す。

空所：作品を読む上で重要な内容でありながら言い表されていない部分がある。

12

「言語作品」における見方・考え方

メロスは、**■**した。
その王の顔は蒼白で眉間のしわは、刻み込まれたように深かった。

←

暴君ディオニスは、群衆の背後から二人のさまをまじまじと見つめていたが、やがて静かに二人に近づき、**■**、こう言った。

一人の少女が、**■**をメロスにささげた。

勇者は、ひどく**■**した。

課題…この作品の冒頭部と結末部の色彩表現は登場人物の考え方や価値観がどのように変化したことを象徴していると読めるか。

「言語作品」の見方や考え方にかかわる学習指導要領の取扱い

(小学校【思考力・判断力・表現力】「読むこと」を例に)

	低学年	中学年	高学年
精査・解釈	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。	ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと一緒に付けて具体的に想像すること。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

14

「言語作品」における見方・考え方

説明的文章の見方・考え方

- 話題：トピックセンテンス（冒頭文）では何について述べるのかが示されている。
- 主張：筆者は序論部か結論部の少なくとも一方で、読者に伝えて納得させたいメッセージを示している。
- 事実：客観的な事実や経験が根拠として示されている。
- 論理：「Aならば必ずBである」→「BでなければAではない」のような推論や、事実関係の分析などによって事実と主張との関係が合理的に説明されている。
- 反証：筆者のメッセージに対して批判的な立場からの検討がなされている。

15

「言語作品」における見方・考え方

課題…本文の事実関係から、筆者のプロファイルを推測してみよう。

紅葉の季節も終わり、山はそろそろ晩秋の表情をみせていた。山の下を千曲川の支流、相木川が流れ、川の近くには稲刈りを終えた水田がみえていた。そんな冬を間近にした山村の風景をみながら、その日ははやくり車を走らせていた。河原に村人の姿があった。積み上げられた野菜を洗っている。その横では、足の太い一頭の農耕馬が冬を前にして枯れかかった草をはんでいた。

私は何となく懐かしい気持ちになって車を停めた。不思議な気がした。私は東京育ちで、それまで馬のいる農村の景色などみることはいはずなのに、何故か懐かしい景色をみているような気持ちになつてくる。まるで山里の原風景をみているような懐かしさがこみあげてくる。

それから二十年ほどが過ぎたある日、私は木曾の開田村まで木曾馬をみにいった。すでに一九九〇年代に入り、私たちの社会は自然への関心を高めてきていた。開発よりも自然の保護をという気持ちは、決して少数者のものではなく、私もまたこの動きを歓迎していた。

開田村には、二十年前に相木川でみたのとよく似た数頭の馬が放たれていた。といってもすでに農耕馬でも荷物運びにたずさわる馬でもなかった。それは村営牧場のなかにいて、木曾馬をみにくる人々のものになっていた。そして実際、その日もさまざまなグループや家族が、木曾馬をみるために牧場を訪れていた。（以下略）

（内山節『馬のいる風景』より）

「言語作品」の見方や考え方にかかわる 学習指導要領の取扱い

(小学校【思考力・判断力・表現力】「C読むこと」を例に)

	低学年	中学年	高学年
構造と 内容の 把握	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。 イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などの關係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 イ 登場人物の相互關係や心情などについて、描写を基に捉えること。

17

資質・能力とは何か

(資質) 自ら学びに向かい、自立した健全な社会人として成長しようとするために備えているべき内面的諸条件。

(能力) 自ら学びを計画・実行・省察・改善するために獲得され活用されるべき知識・技能、及び思考力・判断力・表現力。



結果を測定する評価から
可能性を見出す評価への大転換

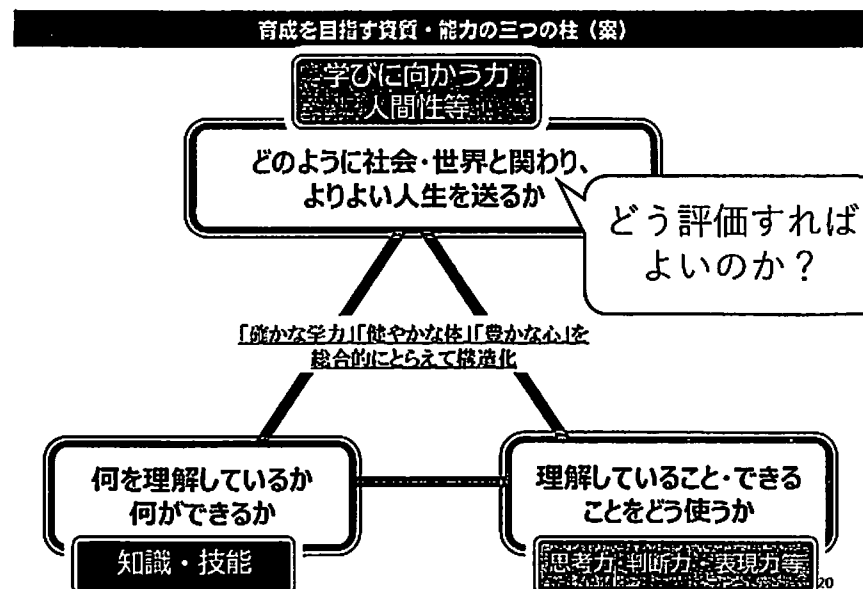
18

重視すべき資質・能力とは何か

- ① 失敗を怖れずに挑戦し、困難を克服するたくましさをもつこと。
- ② 他者と交流し、集団としての考えを深化・発展させるようとする事。
- ③ 様々な体験を通して思考を深め、心を豊かにしようとする事。
- ④ 他者との相互理解を深め、隣人を尊重する態度をもつこと。
- ⑤ 言語文化の担い手として、人生を豊かにしようとする態度をもつこと。

19

資質・能力と学習指導要領改訂の方向性



20

Transformability (変容可能性)

としての評価観への転換

伝統的な学力観

- 子供は未熟な存在であり、教授することによって後天的に知識・技能を獲得する。
- 子供の思考・判断・表現の能力は、教師を初めとする大人が構成し制御するタスクへの取り組みによって開発される。
- 子供は規範への順応と教師の承認を指標に自らの成長を実現する。
- 子供の学力の伸長と様相は、教師によって測定され、子供に還元される。

真正の学力観

- 子供の知的好奇心は生まれながらにして横溢しており、知識・技能を獲得する素地は出来上がっている。
- 子供の思考・判断・表現の能力は、教師を初めとする大人と対等の関係性によって創発されたコミュニケーションへの参加によって開発される。
- 子供は規範への自己言及的なかわりと教師の信頼を契機に自らの成長を実現する。
- 子供の学力の伸長と様相は、子供自身の自己評価と大人との協働的な対話によって子供自身が把握する。



21

【知識及び技能】と【思考力・判断力・表現力】とは
どういう資質・能力か？

【知識・技能】

- (1) 言語の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) わが国の言語文化に関する事項

【思考力・判断力・表現力】

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

【内容についての取り扱い】

22

【知識及び技能】と【思考力・判断力・表現力】とは
どういう資質・能力か？

【知識・技能】

多種多様な言語活動を行う際に必要とされ、かつそれらの言語活動を通して成長する測定可能な言語能力

○語彙や文法などの理解内容
(知識) ≡ ガソリン

○言葉や情報などの操作能力
(技能) ≡ 運転免許

23

【知識及び技能】と【思考力・判断力・表現力】とは
どういう資質・能力か？

【思考力・判断力・表現力】

言語活動がなされる実際場面で・・・

○課題設定・見通しの把握・事実関係の把握・感情の自覚・論理づけ・吟味・想像などを行い、(思考)

○自ら設定した規準と基準に照らし合わせて、思考内容を評価し、(判断)

○効果的な方法を工夫して発信する(表現)

一連の行為を、なめらかに・すみやかに・深く・鋭く・豊かに行う能力

≡ 実走行

24

【知識及び技能】の体験的理解

これは何の話でしょう？

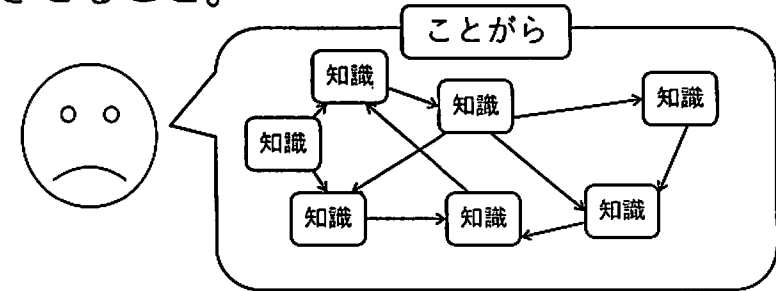
新聞の方が雑誌よりいい。街中より海岸の方が場所としていい。最初は歩くより走る方がいい。何度もトライしなくてはならないだろう。ちょっとしたコツがあるが、つかむのは易しい。小さな子どもでも楽しめる。一度成功すると面倒は少ない。鳥が近づきすぎることはめったにない。ただ、雨はすぐしみ込む。多すぎる人がこれをいっせいにやると面倒がおきうる。ひとつについてかなりのスペースがある。面倒がなければ、のどかなものである。石はアンカーがわりに使える。ゆるんでもものがとれたりすると、それで終わりである。（西林克彦,2006「わかったつもり：読解力につかない本当の原因」光文社新書p.45より）

25

【知識及び技能】の体験的理解

スキーマ

主体が保持している情報のまとまりを、目的に応じて関係づけ、適切な行為選択を可能にさせること。



26

【思考力・判断力・表現力】の体験的理解

「事実」を述べた文とは認定できないものを選んでください。

- ① 富士山は日本一高い山である。
- ② ロンドンオリンピックが開催されたのは2012年である。
- ③ 僕（太郎）は花子さんと結婚したいと思っている。
- ④ 台形の面積は（上底+下底）×高さを2で割ると求めることができる。
- ⑤ 新聞社の調査によると一か月間に一冊も本を読まない成人が回答者の50%にも達している。

27

国語科における【思考力・判断力・表現力】の比喩的理解

A「話すこと・聞くこと」

話し言葉によって情報を伝達・交流し、主体の言語生活に生きて働く言語活動



移動としての運転

B「書くこと」

書き言葉によって情報を発信・創造し、主体の言語生活に生きて働く言語活動



運搬としての運転

A「読むこと」

書き言葉によって情報を受容・継承し、主体の言語生活に生きて働く言語活動



観光としての運転

28

国語科における【思考力・判断力・表現力】の比喩的理解

A「話すこと・聞くこと」

- ・実生活に生きて働く言語活動
- ・生身の人間同士のコミュニケーションが基本
- ・目的と場に応じて適切に情報を伝え合い、自分の考えを豊かにする

- ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
- イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。
- ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
- オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること

(次期学習指導要領小学校国語第5・6学年)

→

国語科における【思考力・判断力・表現力】の比喩的理解

B「書くこと」

- ・実生活及び社会生活に生きて働く言語活動
- ・自分が書いたものを相手に届けるコミュニケーションが基本
- ・目的と相手に応じて適切に情報を伝え、自分の良さに気づく

- ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
- イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。
- ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
- カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
- (次期学習指導要領小学校国語第5・6学年) 30

国語科における【思考力・判断力・表現力】の比喩的理解

C「読むこと」

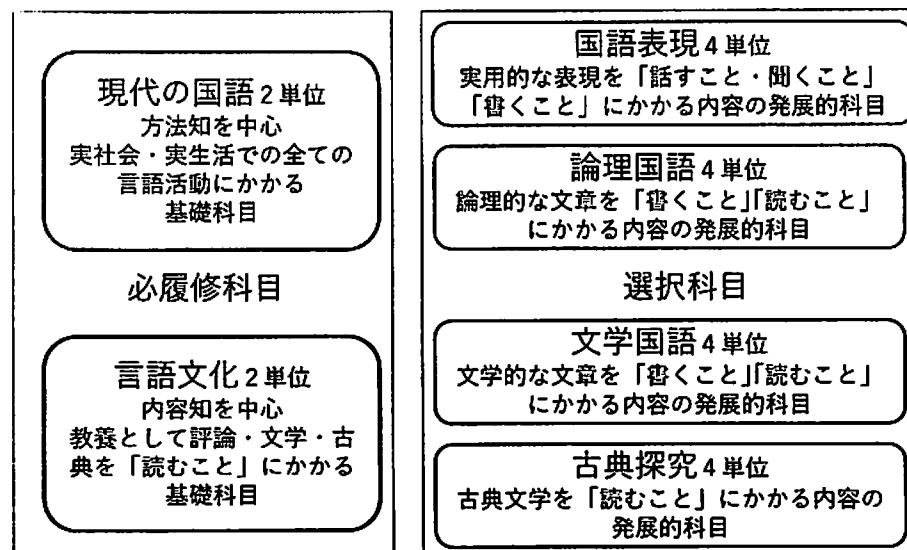
- ・社会生活に生きて働く言語活動
- ・他者が書いたものを受け取るコミュニケーションが基本
- ・目的に応じて適切に情報を手に入れ、自分の考えを豊かにする

- ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
- イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
- ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
- エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
- オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
- カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

(次期学習指導要領小学校国語第5・6学年)

31

【付録】高校の国語科はどう変わるか？



32